

## 主役は住民！ 惹きつける魅力ある資源と人財（宇和島市）

### 【取組概要】

「山本牧場」や「祓川温泉」など地域資源が豊富な地域であるが、本市において最も過疎高齢化が進んでいる。そんな中、地域住民が主体となり、旧保育所を活用した宿泊とランチバイキング、配食サービスの「みまきガーデン」や移住者による古民家活用「福田百貨店」の開店、地の利を活かし丁寧に育てた「御槇米」のブランド化など、それぞれが精力的に活動に取り組んでいる。

それらの活動やおもてなしが人を惹きつけ、UIターンが増えている。

【人口推移】（住民基本台帳人口）

H26.4.1

H27.4.1

人口：353人 高齢者率：59.49% → 人口：359人 高齢者率：57.66%

人口 80,870 人

担当部署 総務部企画情報課

事業実施期間 平成25年4月～

取組事例のURL <http://mimaki.jp.net/>



みまきガーデン ランチバイキング

### 【取組のポイント（特徴・先進性・特色など）】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

住民が主役であることを崩さず自らが取り組みたい活動にドライブをかける役割を行政が担う。

立上時には担当者が積極的に出向いて夜遅くまで打ち合わせを行い、稼働後は事業のフォローアップとして「地域おこし協力隊」を導入。住民と協力隊が現場で活動し、行政は徐々にフェードアウト。

移住のステップは「観光宿泊・滞在・移住」である。昨年度末から移住者を中心としたグループが地域内にある空家を調査。それらを活用して短期滞在用の「住」を整備し、併せて地域にある事業所や農林業など滞在期間中の「職」を整理し、担い手の確保による地域産業の維持と移住の促進を一体的に行っている。



空家シェアハウスプロジェクト